

1. はじめに

人間は、誰しも自己の思うとおりに日々を過ごせるわけではないので、何らかの不満や憤りやストレスを感じて、時には我慢できないと思ったり、あるいはまた無力感に苛まれたりするものである。それが言語化されると、嘆き、ぼやき、愚痴などと言われて、迷惑がられることも多い。しかし、このような言語活動によって自己を主張しつつ、話相手から同意を得れば慰められ、叱咤されれば思い直したりして、主観的な行き詰まり状態から抜け出すきっかけを得ることができるのである。このような言語活動に注目し研究するにあたっては、まず使用される語彙の意味分析を試みるのが有効であろうと考えられる。この観点から、筆者はかつて千葉県南房総方言のオイネーということばを取り上げて、意味分析を試みた(注1)。

オイネーと意味・用法上かなり重なる部分を持つと思われる現代共通語のひとつに「しかたがない」がある(注2)。

- (1) イマサラ コーカイシタッテ オイネー
- (2) いまさら後悔したってしかたがない。
- (3) アツクッテ オイネー
- (4) 暑くてしかたがない。

※カタカナは方言の音声を簡略表記したものである。

(1)と(2)、(3)と(4)はほぼ置き換え可能だという調査結果を得た。ところで、例文(2)と(4)の「しかたがない」はひとつの語義としてまとめることができるのだろうか。(2)は「無駄だ」と入替えてもそう文意が損なわれないように思えるが、(4)はそうではない。(4)は「たまらない」と入替えてもそう文意が損なわれないように思えるが、(2)はそうではない。「無駄だ」と「たまらない」のような、意味の近くない二つ語義を「しかたがない」が備えているとすれば、その意味間の関係はどうなっているのだろうか。オイネーの意味分析の際にこの点を見落としていたので、今回は「しかたがない」の多義語としての側面に注目し、複数の語義がどのような関係を構成しているのかを解明したい。合わせてオイネーの多義構造(多義語としての意味構造を今後このようにも言う)も考察し、この二語の異同と盛衰についても言及する。

尚、本稿では「しかたがない」と「しかたない」をほぼ同義として扱い、原則として「しかたがない」で代表させることにする。

2. 従来の研究

「しかたがない」の意味分析についてのこれまでの研究を見てみることにする。

『類語例解辞典』では、「しかたがない」が「218 希望・願望・欲望（「しかたない」で立項）」で記述されている。「218-23しかたない」では、

ほかにどうしようもない。やむを得ない。

という語義の後に、

…「かわいくて仕方ない」のように、どうにもしようがない、たまらないの意でも用いる。

とあり、前後の記述をひとつの語義にまとめることはできないので、二つの語義が記述されていると考えるべきだろう。

また、『現代形容詞用法辞典』の「しかたがない・しかたない」によると、

- (1) とるべき方法がなく、やむをえない様子を表す。ややマイナスよりのイメージの語。（中略）客観的な判断は意味せず、話者の主観的なあきらめや不本意さの暗示される表現となっている。（後略）
- (2) (1)から進んだ意味で、困惑すべき状況であることを表す。ややマイナスイメージの語。（後略）
- (3) (1)(2)からさらに進んで、「～てしかたがない」の形をとり、我慢できない様子を表す。プラスマイナスのイメージはない。（後略） 270頁

というように、三つの語義に分かれている。

引用したどちらの辞書記述も、類義語との意味比較などもされており、それぞれの語義記述は詳細で納得のいくものである。また、「しかたがない」を多義語とするのも妥当と思われる。

次に、多義語の定義とその問題について国広1986から引用する。

多義語とは分かり易く言えば辞書で番号を用いて二つ以上の意味が記述されている語であるが、定義的に言うならば「意味的に関連付けられる二つ以上の意味を持つ語」ということになる。問題は、このように定義付けたところで、具体的な記述をする場合には、必ずしも簡単にことが運ばないということである。5頁

この記述に従えば、「しかたがない」の語義も「意味的に関連付けられる」はずである。しかし、『類語例解辞典』の方は前半と後半が二つの語義として考えられるものの、一番目の語義と二番目の語義との関係については何ら述べられていない。『現代形容詞用法辞典』の方には、「(1)から進んだ意味で」あるいは「(1)(2)からさらに進んで」という部分が意味派生の順序のように受け取れるが、「意味的に関連付け

られ」ているとは言えない。多義語の研究については国広1995で、

…「意味的に」というのを「意味実質の面で」という意味にとると、一般に辞書で多義として扱われている場合に、意味実質の点で全く関係のない例が幾らでも出てくる。 39頁

とある。先に見たように「しかたがない」もこの一例と考えてよいと思われる。そして国広1994では、「語の指示物である外界の現象そのものを基礎としてその多義を考えなければならない」場合を挙げている（注3）。つまり、語義と語義との意味実質（概念と呼んでもよい）による関係ではなく、語の示す現象（動作その他）を「心理的にどう捉えるか」の異なりが、同一の語における語義の異なりになっている場合があるとの指摘なのである。これを国広1994で「認知的多義」と名付け、「認知」を「知覚内容にある解釈を加えたもの」と定義している。

このような研究を踏まえ、「しかたがない」においても複数の語義は何らかの関係を持っているという仮説に基づいて、多義の構造を探ってみることにする。

3. 「しかたがない」の多義構造

「しかたがない」の多義構造を解明するにあたって、「基本義」と「派生義」を定める。筆者は、「多義の基になる意味」（田中1990）が存在し、どの語義もそこから分かれ出たものであるという立場をとり、これを提唱する。そこで「基本義」の定義を多義の基になる意味とし、そこから派生した意義素を「派生義」の定義とする。従来の辞書記述では基本義と派生義が同列に並べられているか、もしくは基本義は記述されず、派生義だけが並べられていたが、それらを以上のような観点に立って整理し、位置付けてみることにする。

3-1. 基本義

「しかたがない」の基本義とは、「しかたがない」は基本的にどんな意味内容を伝える語であるか、その内容ということである。「しかたがない」は”「しかた」が「ない」”と分解することができる。まず、「しかた」とは現代共通語で、「説明の仕方」、「挨拶の仕方」、「料理の仕方」などのように使われている。『類語例解国語辞典』の「812 手段・方法」に812-01「仕方」が分類され、「目的を達成するために行う行動の内容」とある。「目的」とは、例えば「説明を成し終えること」、「挨拶をきちんとすること」、「料理を作ること」である。ところで、例えば「挨拶の仕方がわからない」であれば言えるのに、「挨拶の仕方がない」などとは通常言えないの

は何故だろうか。そこで、「しかた」には、「目的を達成するための何かしらの行動がある」という前提が必要となると思われる。それが「ない」ということになると、矛盾が生じ客観的な叙述が成り立たない。したがって、「しかたがない」は「目的を達成するための行動がない」という意味にはなるが、客観性のない主観的な判断の表現になる。以上のことから、「しかたがない」の基本義を「目的を達成するために行う行動がない(と思う)」と定めることができる。

3-2. 派生義

基本義を定めることによって、その他の語義は派生義と位置付けることができる。「しかたがない」の用例を文型によって分類し、文型とそれぞれの語義との関係を見ることによって、語義間での優劣や順位を付け、基本義との関係を探ることにする。

「しかたがない」は人間の精神活動に密接に関係している語であり、主体は原則的には人間に限られるが省略されることが多いので、ここでは示さない。おもな文型と用例は次の通り。

文型1 Aガ(ハ) Bカラ(ノデ、バなど) しかたがない

文型1の例文として、以下に(5)を示す。

(5) いつまでたっても迎えが来ないんだからしかたがない。

文型2 しかたなく C

文型2の例文として、以下に(6)を示す。

(6) しつこく聞かれてしかたなく話した。

文型3 しかたがない A' ダ

文型3の例文として、以下に(7)を示す。

(7) まったくしかたのない奴だな。(『現代形容詞用法辞典』)

文型4 Aガ(ハ) Dテ しかたがない

文型4の例文として、以下に(8)を示す。

(8) 青年は理想を抱いている。だが、その理想を現実のものにする力量を十分にもっていない。大人たちのつくる社会が窮屈に思えて仕方がない。

(1985. 01. 15朝日新聞 朝刊5頁 社説)

Aは名詞(句)で、主体が「そうあるべきではない」という思いを抱いている人・物・事柄・状態を表す。例文として(9)、(10)を示す。

(9) 円高も内需拡大も、必要なことは十分にやった。それなのに黒字が減らない

のなら仕方がない。(1989.04.17朝刊 朝日新聞 5頁 社説)

(10) 夏に蚊に刺されるのはしかたがない。

ただし、文型3のA'には名詞のみで、名詞句は入らない。

Bは名詞(句)で、主体が不本意ながら受け入れる状況を表す。例文として(11)、(12)を示す。

(11) 円高も内需拡大も、必要なことは十分にやった。それなのに黒字が減らないのなら仕方がない。(= 8)

(12) 無理をかさねていると思われても仕方がない。

(1989.01.26朝刊 朝日新聞 5頁 社説)

Cは動詞で、主体が本来ならばしたくなかった行為を表す。例文として(13)、(14)を示す。

(13) 雨がふりそうなので、しかたなく傘を持って出かけました。

(『現代国語用例辞典』)

(14) 十一時の閉店ぎりぎりまでその喫茶店で粘ってから後、ぼくは仕方なく近所の公園へ行って真夜中を待ちました。(『しょうがない人』)

Dは動詞・形容詞の連用形に接続助詞テが付いた形、あるいは形容動詞の連用形で、主体が我慢することができない精神的・肉体的状態を表す。例文として(15)、(16)を示す。

(15) 別に怪しい気配はないが、胸騒ぎがして仕方がない。

(1990.05.06 朝日新聞 1頁 天声人語)

(16) 嬉しくてしかたない。(『類語例解辞典』) ※すべて下線は筆者。

ところで、文型1は、不本意ながら受け入れる状況が明らかな場合は省略されて、「対象ハ しかたがない」になることもある。例文として(17)を示す。

(17) 小さな失敗は仕方ない。(『類語例解辞典』)

また、文型2は連用修飾語としての用法である。不本意ながら受け入れる状況は省略していることが多く、「しかたなく C」の形が一般的のようである。文型3は「しかたのない」となる場合もある。そして、文型4ではDが省略されることはない。

さて、文型1、2の「しかたがない」はいずれも「不本意だが、(対象がそのような状況にあることを)諦めるしかない(く)」という意味である。文型4では、「(対象がそのような状態で)現状に我慢できない」という意味である。文型3は、文型1、2と同じ意味にも文型4と同じ意味にも取れる。むしろ、どちらか一方の意味だけではなく、「不本意だが、諦めるしかない」と「現状に我慢できない」が混ざり合

って、「困った」というほどの意味である。「どうすることもできないけれど、我慢できないで困っている」という心理状態は容易に考えられる。このことについては、3-3 以降で述べる。また、先述のように「Aハ しかたがない」は、文型1の意味にしかならない。このことは、文型1の意味が文型4の意味より優先されるということを示す。また、文型4は必ず「Dテ」の形を取り、用法としても制約が厳しい。以上のことから、文型1の「しかたがない」の意味と文型4の意味ははっきりと異なり、しかも文型1の意味の方が優勢であることがわかる。文型2は連用修飾語としての文型1のバリエーションであると考えられるので、文型1、2の「しかたがない」の意味を派生義1、文型3は意味の上から文型1と文型4の意味の中間に位置することから、文型3の「しかたがない」の意味を派生義2、文型4の「しかたがない」の意味を派生義3とする。派生義1、2、3の順に用法範囲が広く、派生義1と3とは相反しているが、派生義2はどちら側の意味も含みながら、どちら寄りでもない。

3-3. 基本義と派生義の関係

まず、「しかたがない」の基本義と派生義1、2、3それぞれとの意味のへだたりを考えてみる。「しかたがない」のそれぞれの意味内容は人間の精神活動に深く関わることから、へだたりを測るには、私たちの日常的な考え方に従うことが有効だと考えられるので、以下、このような観点から分析をする。さて、「目的を達成するために行う行動がないと思う」場合、「不本意だが諦めるしかない」という考えに至るのは比較的容易である。つまり、この意味間の距離は近いと言える。一方、「現状に我慢できない」という考えには、「それでも」や「にもかかわらず」といった逆接の関係でつながる。「我慢ができない」は「目的を達成するために行う行動がない」という状態に抵抗する精神活動であるといえる。したがって、基本義とはかなり距離がある。ところで、私たちは日常「不本意だが諦めるしかない」や「現状に我慢できない」などの考えのどちらもよく抱くわけだが、この両方の考えを同程度抱く場合もある。その時は「不本意だが諦めるしかないのだが、現状に我慢できない」という考え（思い）であり、このような状態は「困った」と言い換えてもよいと思われる。

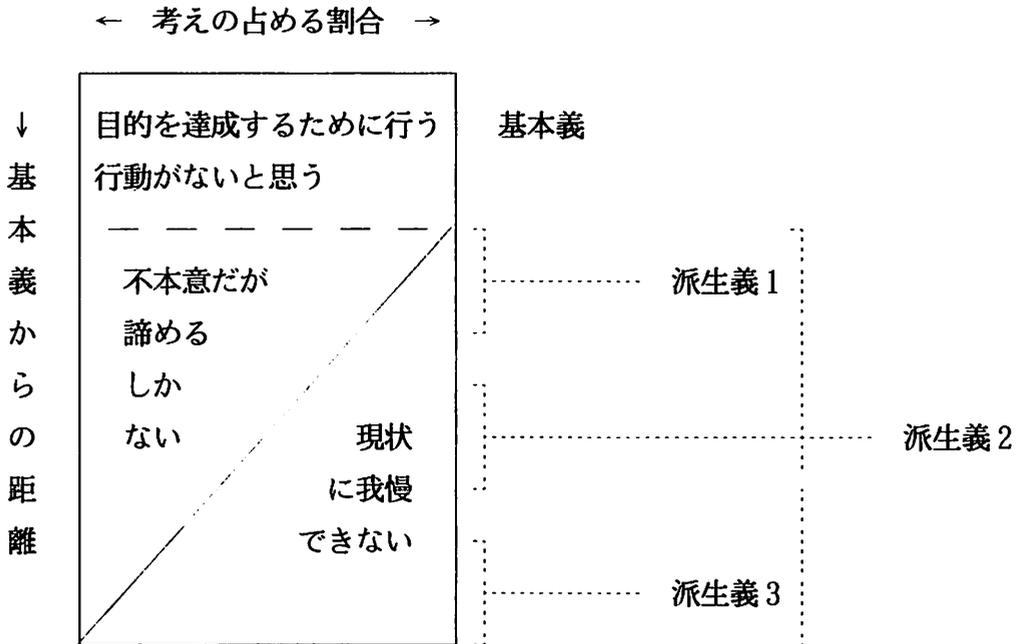
人間の日常的な考え方に従うことによって、「しかたがない」の基本義から派生義の意味内容の結び付きが得られ、また意味のへだたりも測ることができた。これを基本義からの距離の遠近で示すことにする。さらに、派生義1「不本意だが諦めるしかない」と派生義3「現状に我慢できない」は相反する概念ではあるが、私たちの日常的な考えの中では隣合わせのような関係にあるとも言える。両方の考えが相まってい

るときには「困った」と思うものであり、派生義2は派生義1と3が均衡を保っている状態に位置すると考えられる。このような多義語の語義間の関係を国広(1986)では、「多義構造の類」の中の「くさび型」と呼んで説明している(注4)。

この型の多義語では個々の意味が別々に認められるのではなくて、連続的に変わっていくと考えられる。その両端を取り出してみると意味的な関連性は全くないが、その中間を埋める用法があり、どこで切ることもできないという状況を呈しているものである。 11頁下段

この部分(本文には図示もされている)を参考にしつつ、「しかたがない」の多義構造を図示すると図1のようになるとと思われる。

図1 「しかたがない」の多義構造



縦方向は基本義からの距離を示す。横幅は、それぞれの考えの占める割合を示し、その面積の比率が半々でどちらが優勢でもない場合は、派生義2となる。よって、派生義2は派生義1と3の中間の狭い範囲である場合の他、派生義1と3を覆う広い範囲の場合も考えられる。

上部に位置する基本義が「しかたがない」の意味内容の前提のとなり、「しかたがない」の意味に常に反映されている。これは従来の研究で「暗示」と表現されていた部分である。「不本意だが諦めるしかない」と「現状に我慢できない」は隣り合っ

いて、その割合の違いが語義の違いを生じるのであり、どこで区切れがあるわけでもないのである。このような構造が、「しかたがない」の語義にやや複雑で抑制のきいたニュアンスを与えることになる。「不本意だが諦めるしかない」が基本義に近く、「現状に我慢できない」は基本義から遠い。この位置関係は、意味のへだたりの関係を表している。

4. 考察

4-1. 「…てしかたがない」形について

3-2でも述べたように、派生義3「現状に我慢ができない」は文型4「…てしかたがない」の形（以降、「て」形と省略する）を必ずとらなければならない。しかも、派生義3は基本義に対して「抵抗」の関係にある。3-3の図1から、なぜ派生義3が生じたのか、またなぜ派生義3が「て」形をとらなければならないのかを考えてみたい。

国広1994では、ある動詞が多義語である場合、その動作を外界におけるひとつの現象ととらえ（現象素）、同一の現象に対する複数の解釈（認知）としてそれぞれの語義を関係付けられることがあると述べている。つまり、ひとつの現象に対しての焦点の当て方に変化が起こったために、複数の語義が生じたと言い換えることもできる。この「現象」を外界の現象に限らずに、人間の内面での精神活動もまた「現象」としてとらえることはできないだろうか。この場合、「目的を達成するために行う行動がないと思う」との「判断」もしくは「考え」に対しての焦点の当て方の変化が、派生義1～3を生んだと考えることができるからである。外界における動作が人間の体等を使って客観的に示せるように、大量の用例を分析することによって、「しかたがない」がどのような精神活動に結び付いているか、特定し類型して客観的に示すことは可能である。しかし、「目的を達成するために行う行動がないと思う」という考えにどのように焦点を当てると「現状に我慢できない」になるかということについては、ここでは論じない。先にも述べたように「私たちの日常の考え方に従う」ことによって、いくつかの焦点が見い出せるのである。

さて、「暑くてしかたがない」のような「て」形が派生義3の意味と強く結び付く理由は、助詞の「て」の職能にあると考えられる。基本義から考えるとこの「て」は理由を表し、「暑いので目的を達成するために行う行動はないと思う」と言い換えらる。しかし「て」には場面・状況を表す職能もあり、「暑い状態では不本意で、目的を達成するために行う行動はないと思う」にも解釈できることから、やがて「暑い状

態では不本意で我慢できない」ことに焦点が当てられ、「しかたがない」の意味が「不本意で我慢できない」の方へ移っていくのを、「て」の職能の広さが促したとも考えられる。この点については、今後通時的な視点も必要と思われる。しかし、「しかたがない」の音声は現代でも基本義を想起させるので、「たまらない」もしくは「我慢できない」と完全に同義にはならないのではないだろうか。派生義3は、基本義や派生義1と図1のような関係を構成しているので、「たまらない」などでは言い表せないやや複雑な考えを表現し得るのである。

「しかたがない」の多義構造を分析するにあたって、「私たちの日常の考え方」に従うことが有効であることを述べたが、「私たちの日常の考え方」の解明についてはこれまで言語学の領域ではなかった。しかし、言語学（国語学）の立場からの「認知」に対するアプローチは今後増えると思われるし、心理学や精神医学の成果をどのように取り入れるかも考えていく必要がある。

4-2. 「オイネー」の多義構造

先述したように、「しかたがない」の多義構造の解明は、千葉県南房総方言のオイネーの意味分析へ応用するという目的がある。まず、先に行った筆者のオイネーの意味分析を概略して示すと、次のようになる。

図2

オイネーの意味（案）

オイネー：（前提）本来、話者も関与してゐる。

（意味）話者の手にはおえない。

↓

↓

今の状態を中断しない限り、
関わりたくないよ。

いまさら話者が関与しても、
事態は改善しないだろう。

（私が関わらないと、困るだろう。）

↓

↓

どうしようもない。しかたがない。

やめたほうがいいよ。禁止

許容

上の関係図もまた、人間の私達の日常的な考え方に従うことによって、従来の研究で取り扱ってきた複数の語義を結び付けたものである。詳しい根拠はここでは省くが、オイネーにおける基本義は「手に負えない」と定めることができると思う。方言における基本義の定め方は今後もっと研究しなければならないが、ここでは原義と思われる文献資料から求めた。近世資料から「負えない」という形式とその意味を抽出し、

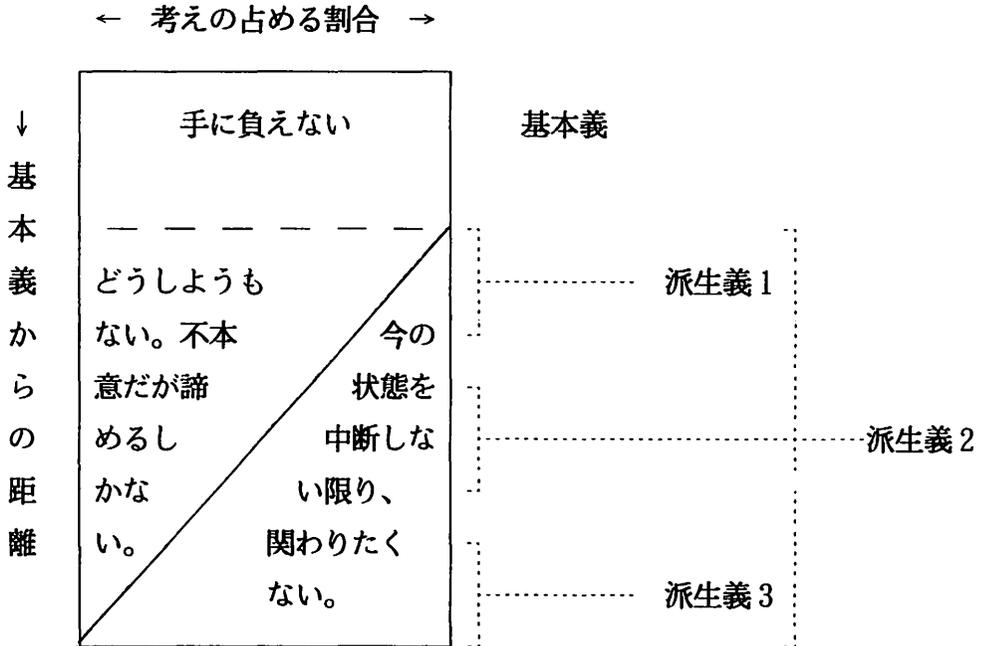
それは現代共通語では「手に負えない」「責任を負えない」という概念でとらえられるため、これを基本義と定めてよいと思われる。他の「どうしようもない。しかたがない。」「やめたほうがいいよ。」は派生義ということになる。しかしながら、オイネーが、単なる許容や拒否を表すわけではないことは、徳川1989に7つの意味分けがされていることからわかる(注5)。また、次のような用例は、二つの派生義の占める割合が等しい場合と考えられる。

(18) オメーラワ ロクジメーニ オキネッパ オイネーヨ (『日本方言大辞典』)

(お前たちは、6時前に起きなければ駄目だよ) ※共通語訳は筆者。

(18)の用例では、単に「起きなければ駄目」という意味だけでなく、親しい間柄の、おそらく朝6時に起きるのが苦手そうな子供達(人々)に対しての、「たぶん起きられやしないんだから」という、「しかたがない」の派生義1「不本意だが諦めるしかない」に近い思いが混ざっている。このような「しかたがない」と共通の語義を派生義1とし、(18)のような語義を派生義2と定める。「やめたほうがいいよ。」は直接基本義に結び付けることが難しいので、もう一段階逆上って、「今の状態を中断しない限り、関わりたくないよ。」とし、派生義3とする。オイネーの多義構造も「しかたがない」で用いた図を用いると、うまく説明することができる。

図3 オイネーの多義構造(案)



「手に負えない」という主観的な判断から、一方で「不本意だが諦めるしかない」へと、もう一方で「今の状態を中断しない限り、関わりたくない」へと語義が派生するのだが、どちらも「手に負えない」という考えについて、「許容すべき（不本意だが諦めるしかない）」の占める割合が多いか、それとも「許容できない（今の状態を中断しない限り、関わりたくない）」の占める割合が多いのかという関係にある。また、図示していないが、ここには、「本来、話者が関与している」という前提が必要である。そのことについては4-3でも触れることにする。

4-3. まとめ—「しかたがない」と「オイネー」の多義構造の異同と盛衰—

以上のように「しかたがない」とオイネーの多義構造を図示し比較すると、共通する部分は派生義1「不本意だが諦めるしかない」と派生義2「困った」である。この二語の多義構造は同じ枠組でとらえることができる。しかし、当然ながら基本義や派生義3が異なり、それは暗示（あるいはニュアンス）の違いとなって表れてくるのである。

筆者が以前行った千葉県方言の調査結果では、オイネーがショーガネーやシカタネーに取って代わられつつある結果が出た。オイネーの前提「本来、話者が関与している」に基づいた「手に負えない」の基本義が、社会情勢の変化などの影響を受けて失われつつあり、このような共同体原理に基づく前提を必要としない類義語の「しかたがない」がオイネーの語義の一部を引受けたのだらうと考えられる。

5. 今後の課題

オイネーの多義構造を知る方法として、まず現代共通語の「しかたがない」の意味の構造を解明した。今回は「しかたがない」を取り上げたが、オイネーは他のいくつかの現代共通語でも代用されることがあるので、それらの意味分析と比較作業を進めることにより、オイネーの語義の解明を行い、その意味内容は今後どの程度引き継がれていくのかも考えてみたい。また、「しかたがない」と「オイネー」の多義構造を、基本義に対する人間の日常的な考え方をもとに、同じ枠組みによって捉えることができたのだが、これが感情や判断を表す形容詞に普遍的なものであるか、そうでなければ他にどのような枠組が考えられるのかも今後の課題としたい。

尚、今回は「しかたがない（しかたない）」と類似する意味をもつ「しょうがない」については触れなかった。この二語の分析は、語史としても方言としても、面白いテーマだと思う。合わせて今後の課題としたい。

注1. 拙稿「千葉県南房総方言と江戸ことばについての一考察－オイネーとおへねへー」

『日本語研究』第15号 1995.02.24 東京都立大外国語学研究室)165頁～174頁

注2. しかし、オイネーには「しかたがない」では置き換えられない意味もあり、完全に重なり合っているわけではない。

注3. 「認知的多義」（国広1994）の記述。

多義語のあるものは、語の指示物である外界の現象そのものを基礎としてその多義を考えなければならないことになり、またそう考えることによって多義の記述が無理のない自然なものになる。（中略）このような考え方は、我々が外界を心理的にどのように捉えるか、どのように認知するかということに中心をおいているので、そうして生じた多義を他の場合と区別して「認知的多義」（cognitive polysemy）と呼ぶことにする。 23頁

注4. また、国広(1995)では、多義派生の型を「多義の種類」として論じている。その中では「認知的多義」の中の「多面的多義」に当たると思われる。

注5. 『日本方言大辞典』の「おえない」

- ①手に余る。どうしようもない。困る。
- ②不可能だ。
- ③無益だ。役に立たない。がちが明かない。つまらない。
- ④してはいけない。禁ずる。だめだ。
- ⑤するには及ばない。必要がない。
- ⑥しなければならない。
- ⑦失敗した時に発する語。※用例は省略。

また、『白子風土記』では次の記述が見られる。

第8章 二. 方言・訛語

仕方がない・手に負えない・だめ＝おいねえ（他に仕方がなければ、それでよい＝「おいねけら、そっでいい」、私には手に負えない＝「おがんにゃおいねえ」、そんなことをしては駄目だ＝「そんなことをしてはおいねえ」などと使い分ける。）

224頁

【参考文献】

- 国広哲弥編(1982) 『ことばの意味 3』 平凡社
_____ (1986) 「語義研究の問題点—多義語を中心として—」
『日本語学』 9月号 明治書院
_____ (1994) 「認知的多義論—現象素の提唱—」
『言語研究』 106号 日本言語学会
_____ (1995) 「語彙論と辞書学」 『月刊言語』 6月号 大修館書店
国立国語研究所(1972) 『形容詞の意味・用法の記述的研究』 秀英出版
国立国語研究所(1972) 『動詞の意味・用法の記述的研究』 秀英出版
篠崎 晃一 (1986) 「たえる・こらえる・がまんする」
『日本語研究』 第8号 東京都立大学国語学研究室
田中茂範 (1990) 『認知意味論—英語動詞の多義の構造』 三友社
千葉県長生郡白子町(1989) 『白子風土記』 白子風土記編纂委員会

【辞書類】

- 小泉 保 他(1989) 『日本語基本動詞用法辞典』 大修館書店
徳川宗賢監修(1989) 『日本方言大辞典』 上巻 小学館
森田 良行(1989) 『基礎日本語辞典』 角川書店
藤原 与一他(1985) 『表現類語辞典』 東京堂出版
遠藤 織枝他(1994) 『類語例解辞典』 小学館

【引用言語資料類】

- 電子ブック版『朝日新聞—天声人語・社説—1985～1991年増補改訂版(英訳付)』
日外アソシエーツ編集発行(1992)
原田宗典 (1993) 『しょうがない人』 集英社文庫

謝辞

朝日新聞テキストを検索するにあたり、荻野綱男先生が作成されたテキスト検索プログラムasafindを利用しました。論文を作成する上で受けた恩恵は測り知れません。心より感謝致します。また論文執筆の際、荻野先生と篠崎晃一先生に多くのご教示を賜りました。この恩恵に十分に答えることができていないことは言うまでもありませんが、記して深く感謝致します。

(うみじ みか・東京都立大学大学院生)